

長岡京市 第4次総合計画

概要版

住みたい 住みつづけたい
悠久の都 長岡京



— 基本構想 —

1. 15年後の長岡京市の姿（将来像）

この基本構想では「住みたい 住みつづけたい 悠久の都 長岡京」をキャッチフレーズに掲げ、「ひととまちの姿」「人口フレーム」「土地利用構想」のそれぞれの側面から、私たちが15年後に求めるまちの将来像を描きます。



(1) ひととまちの姿

長岡京市が発展してきた経過を踏まえ、将来を展望して、3つの視点から、15年後の長岡京市のひととまちの姿を描きます。

うるおい・環境

～緑と水と歴史を継いで～

15年後にめざす姿

この地に暮らした先人の心が確かに引き継がれ、うるおいに満ちた暮らしがあり、他に秀でる良質の住み心地が醸されている。

にぎわい・交流

～まちの魅力を最大に～

15年後にめざす姿

まちなかがにぎわい、巡りたい・歩きたいまち長岡京を舞台に、人・もの・文化の交流、産業の活力が導かれている。

あんしん・安全

～支えあう市民生活へ～

15年後にめざす姿

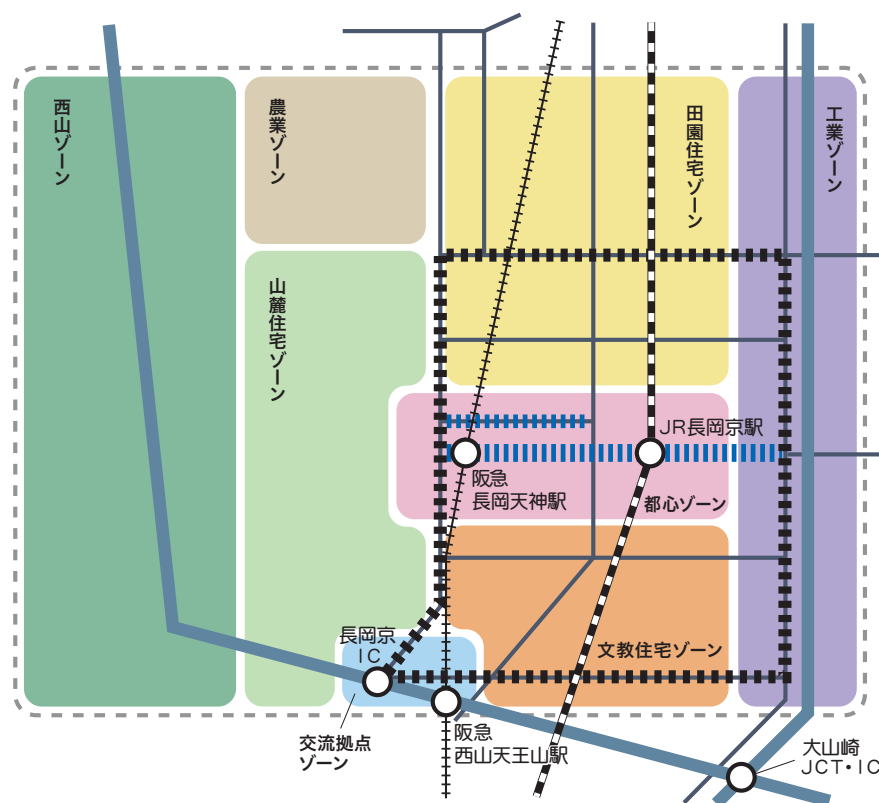
いのち・尊厳・健康・財産が守られ、コミュニティの働きのもとで強まる自治の機能と市民間の支えあいが、暮らしの安心をつくっている。

(2) 人口フレーム

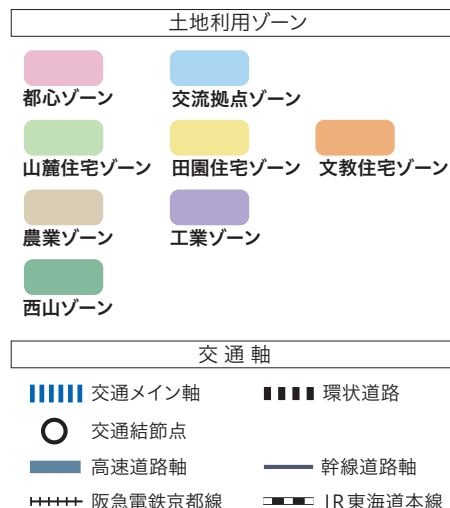
“平成42年において8万人の市民がゆとりを持って暮らせるまち”

今後も魅力あるまちづくりを進め、交流人口の増加や定住志向の高まりを促すよう、市民生活の安定を守りながら、人口構成のバランスの確保に努めていくこととします。

(3) 土地利用構想



長岡京市の土地利用は、西山山麓から東へなだらかに広がる斜面と平坦地という地理的な特性に従って、いくつかの特徴的な地域に分けることができます。そうした特性に即して次の8つのゾーンを設定し、各地域の土地利用の目標を明らかにします。



2. 政策の大綱

(1) うるおいに満ちた、“良質の住み心地”をつくる

(2) まちの魅力を高め、“多彩なにぎわい”をつくる

(3) 人・地域の絆に根ざした、“ゆるぎない安心”をつくる

市民に開かれた行財政運営のもと、
これらの政策を進めることで、
都市としての魅力を育み、活かし、伝え、
選ばれるまち 長岡京市をつくります。



— 基本計画 —

● ● ● 長岡京市基本計画施策体系 ● ● ●

柱	分野	施策	柱	分野	施策
いじめ	産み育てる環境	- 子育て環境の充実 - 産前産後・乳幼児期の安心の確保 - 子育てにかかる経済的負担の軽減	まち	市街地	- 中心市街地整備の推進 - 調和のとれた都市形成 - 都市機能の再創造
	就学前教育・保育	- 就学前教育・保育基盤の充実 - 多様な保育サービスの確保		道路・交通	- 交通ネットワークの充実 - 道路空間の整備
	学校教育	- 学びの充実 - 学校施設の整備		産業	- 商工業・観光の振興 - 営農支援
	地域子育て支援	- 子どもの居場所・交流の充実 - 青少年の健全育成		防災・安全	- 都市の防災機能の向上 - 災害時に生きるネットワークづくり - 安全・安心な地域づくり
くらし	保健・医療	- 健康づくりの促進 - 医療体制の確保	みどり	環境共生	- 西山の整備 - 生活環境の保全
	高齢福祉・障がい福祉	- 豊かな高齢期のための環境の充実 - 介護等への支援の充実 - 障がいのある人等への支援の充実		水資源	- 水資源の保全 - 水の安定供給 - 下水の適正処理
	地域福祉・生活の安定	- 地域福祉の向上 - 生活の安定の確保		循環型社会	- 低炭素社会への転換 - ごみの減量と適正処理
	社会保障	- セーフティ・ネットの堅持 - 年金・保険制度の適正運用		都市景観	- 良好な景観の保全 - 都市緑化と水辺環境整備
かがやき	地域活動・市民活動	- 自治活動の促進 - 市民活動の活発化と協働の促進	けいえい	魅力発信	シティプロモーションの推進
	人権	- 人権・平和を尊ぶまちづくり - 男女共同参画社会の形成		都市経営	- 効果的・効率的な行財政運営 - 財産の適正管理 - パートナーシップ - 行政事務
	生涯学習・文化・スポーツ	- 生涯学習環境の充実 - 文化・芸術の振興 - スポーツの振興			

こども	施 策	施策の内容（重点方針）
産み育てる環境 5年後の目標 安心して子どもを産み育てられる環境が充実し、すべての子どもがその子らしく健やかに育っている。	子育て環境の充実	 ◎ 地域の子育て拠点の充実 ◎ 児童虐待の未然防止・早期発見の体制強化
	産前産後・乳幼児期の安心の確保	 ◎ 切れ目のない子育て支援体制の充実 ◎ 発達障がい児（者）への支援システムづくり
	子育てにかかる経済的負担の軽減	 ◎ 子育て世帯の経済的負担の軽減
就学前教育・保育 5年後の目標 就学前の子どもが、家庭や地域に守られ、良好な育ちと学びの環境で伸びやかに生活している。	就学前教育・保育基盤の充実	 ◎ 待機児童解消対策の実施 ◎ 保・幼・小の連携事業の推進
	多様な保育サービスの確保	 ◎ 病児・病後児保育サービスの拡充 ◎ 保育・教育・子育ての一体的なサポート施設の整備 ◎ 待機児童解消や保育ニーズへの対応の検討
学校教育 5年後の目標 子どもが学校・家庭・地域に学びながら「生きる力」を培って、未来に夢を描いている。	学びの充実	 ◎ 確かな学力の向上と国際理解教育の推進 ◎ 中学校給食の実現と小学校での給食環境の向上 ◎ 学力の向上取組の充実と ICT 教育の推進 ◎ 教育支援センターの充実 ◎ いじめの早期発見・対応の体制強化 ◎ 特色ある学校づくりのあり方の検討 ◎ 部活動の充実等による競技力の向上
	学校施設の整備	 ◎ 学校教育施設の学習環境や避難所機能の向上 ◎ 個々の学校に応じた計画的な施設整備
地域子育て支援 5年後の目標 子どもが地域社会の一員として尊重され、多様な体験機会に恵まれて、まちの将来を担う心と力を培っている。	子どもの居場所・交流の充実	 ◎ 放課後児童クラブの環境整備とすくすく教室の充実 ◎ 地域と小中学校の連携強化による育ちを支える体制づくり ◎ 児童館機能の充実
	青少年の健全育成	 ◎ 地域ぐるみによる青少年の健全育成の推進

くらし	施 策	施策の内容（重点方針）
保健・医療 5年後の目標 健康づくりの意識と行動が浸透し、限られた医療資源の適正利用が進んで、市民の健康寿命が延伸している。	健康づくりの促進	 ◎ 健康づくり環境の充実と意識づくりの推進 ◎ 予防の観点を重視した健診・検診等の推進 ◎ 食育の推進に向けた組織の連携体制の強化
	医療体制の確保	 ◎ 休日、夜間などの救急医療体制の確保 ◎ 長岡京市域の医療提供体制の充実
高齢福祉・障がい福祉 5年後の目標 介護が必要になっても、障がいがあっても、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく暮らしている。	豊かな高齢期のための環境の充実	 ◎ 介護予防事業の提供環境の充実 ◎ 高齢者が集える場所づくりと支えあいの仕組みづくり
	介護等への支援の充実	 ◎ 認知症の早期発見や進行抑制の体制づくり ◎ 認知症に対する理解の促進や見守り体制の強化 ◎ 高齢者の在宅生活の支援と、必要な施設整備の促進
	障がいのある人等への支援の充実	 ◎ 障がいのある人や家族のための相談体制・機能の充実 ◎ 障がいのある人が必要とする施設整備の促進 ◎ 障がい者の社会参加の促進 ◎ 福祉支援者の人材育成と確保

地域福祉・生活の安定 5年後の目標 地域での支えあい・助けあいと公助が連携し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。	地域福祉の向上  ◎ 互助・共助の担い手の活動の支援 ◎ 地域の福祉力醸成の仕組みづくり ◎ 「共生型福祉施設」の検討
	生活の安定の確保  ◎ 「福祉なんでも相談」の充実 ◎ 市営住宅の計画的な修繕と公営住宅のあり方の見直し
社会保障 5年後の目標 年金と医療・介護保険の制度が円滑に運用され、生活困窮の状態の人に適切な保護と自立支援が行われている。	セーフティ・ネットの堅持  ◎ 生活困窮者自立支援制度の充実 ◎ 生活保護受給者の就労支援と社会参加の促進
	年金・保険制度の適正運用  ◎ 各種社会保障制度の適正な運用と相談等窓口サービスの向上 ◎ 国民健康保険制度の広域化への対応

かがやき

かがやき	施 策	施策の内容（重点方針）
地域活動・市民活動 5年後の目標 地縁型・テーマ型の多様な市民活動の中で生まれるふれあいと交流、協働によって、まちが元気になっている。	自治活動の促進	 ◎ 自治会への加入促進と未組織地域の組織化支援 ◎ 校区コミュニティ活動の活性化と地域コミュニティ協議会のあり方の見直し ◎ 校区内のコミュニティ組織の役割の検討
	市民活動の活発化と協働の促進	 ◎ 市民活動サポートセンターを軸とした中間支援的機能の充実 ◎ 市民活動を支える場の提供と人材の育成・確保への支援
人権 5年後の目標 一人ひとりの人権が尊重される居心地のよいまちで、誰もがその人らしく、自らの個性と能力を発揮している。	人権・平和を尊ぶまちづくり	 ◎ 「人権」と「平和」という価値観を大切にした各種イベントや啓発活動の充実 ◎ 「障がい者基本条例（仮称）」の制定
	男女共同参画社会の形成	 ◎ 男女共同参画の意識づくりや啓発の推進 ◎ 女性に対する暴力への対策の充実
生涯学習・文化・スポーツ 5年後の目標 誰もが学びの喜びに満ち、文化や歴史に親しみ、運動・スポーツを楽しむ機会が充実し、生活にうるおいと心身の健康を感じている。	生涯学習環境の充実	 ◎ 生涯学習機会の創出のため、各種団体やサークル等の活動の支援 ◎ 中央公民館や中央生涯学習センターの機能の充実 ◎ 図書館サービスの充実と見直し
	文化・芸術の振興	 ◎ 「文化のまち」長岡京づくりへの取り組み ◎ 文化活動の機会確保のため、文化団体や自主活動団体への支援 ◎ 文化財の保護、調査・研究の推進、資料等の保存と活用 ◎ 「乙訓古墳群」や「中野家住宅」などの活用
	スポーツの振興	 ◎ 総合型スポーツクラブの設立や市民スポーツイベントの充実 ◎ 各種スポーツ参加者の裾野の拡大と指導力の向上 ◎ スポーツ環境の改善に向けた既存施設の充実・強化

まち

	施 策	施策の内容（重点方針）
市街地 5年後の目標 自然環境、都市機能と住生活の調和が保たれたまちで、都心拠点の充実と市街地の魅力向上が展望できる。	中心市街地整備の推進	 ◎ 阪急長岡天神駅周辺のまちづくりの推進 ◎ 長岡京駅前線の計画的な整備 ◎ JR 長岡京駅関連施設の整備 ◎ 市庁舎の建替え及び周辺地域整備への着手
	調和のとれた都市形成	 ◎ 人口減少・少子高齢化を踏まえた都市の形成を図るための「まちづくり条例」の見直し ◎ 都市計画マスタープランに基づくプロジェクトの推進
	都市機能の再創造	 ◎ 駅を中心とした利便性の高いまちづくり推進の計画づくり ◎ 「空き家」の未然防止や利活用のため、空き家等対策計画や空き家条例の制定 ◎ 公共施設の再編整備に向けた構想の策定
道路・交通 5年後の目標 道路の整備や、交通のネットワーク化が進み、誰もが移動しやすいまちになっている。	交通ネットワークの充実	 ◎ 利便性の高い公共交通網構築と利用環境の向上 ◎ 市営駐車場の効率的な経営 ◎ 自転車利用環境の整備と放置自転車防止の取組の推進
	道路空間の整備	 ◎ 京都府と連携した御陵山崎線、長法寺向日線の整備促進 ◎ 安全で安心な生活道路空間の整備促進 ◎ 通学路の安心・安全の計画的な確保の実施
産業 5年後の目標 工業、商業、農林業がさらなる都市の魅力・活力をつくり、市内外からの観光が新たな交流を生み出している。	商工業・観光の振興	 ◎ 企業誘致の推進に向けた庁内連携体制の強化 ◎ 女性や退職後の高齢者等の創業・起業の支援 ◎ 商工会の支援と産業文化会館のあり方の検討 ◎ 観光戦略プランの環境変化に対応した見直し ◎ 「道の駅」的施設の設置検討
	営農支援	 ◎ 特産物の生産の安定と拡大、販路の拡大 ◎ 食育と農業振興に寄与する地産地消の推進
防災・安全 5年後の目標 防災機能が強化されたまちで市民生活の安全が守られ、地域のつながりによる日常生活の安心が保たれている。	都市の防災機能の向上	 ◎ 雨水浸水対策の総合的・計画的な整備促進 ◎ 防災情報伝達手段の段階的な整備と災害対策本部の機能の強化 ◎ マンホールトイレの整備や避難所・備蓄物資の計画的な整備
	災害時に生きるネットワークづくり	 ◎ 全小学校区一斉での防災訓練の実施と訓練内容の充実 ◎ 災害ボランティアセンターの充実強化 ◎ 自主防災組織や地域における防災人材の育成 ◎ 災害時要配慮者支援の体制づくり
	安全・安心な地域づくり	 ◎ 防犯カメラの普及拡大や防犯活動団体への支援 ◎ 各世代に応じた交通安全教育・事業の促進

みどり

	施 策	施策の内容（重点方針）
環境共生 5年後の目標 市民・企業等との協働のもとで環境共生のまちがつくられ、西山の森林の美しさと生物多様性が保たれている。	西山の整備	 ◎ 造林・除間伐等の森林整備の推進 ◎ 市民、企業、森林所有者、行政などが一体となった森林整備 ◎ 森林や竹林資源の活用の拡大
	生活環境の保全	 ◎ 生活環境の各種指標やデータの測定 ◎ “環境の都”長岡京の実現のため、学校での環境学習や環境活動団体の支援と連携の強化

水資源 5年後の目標 安全でおいしい水が供給され、使用後もきれいな水として還し、公共の水域の水質を保全している。	水資源の保全	 ◎ 地下水保全のための水資源の適切な利用や観測の継続
	水の安定供給	 ◎ 安定的かつ効率的な二元水源の確保 ◎ 水道鉛製給水管の取り替えや施設の耐震化 ◎ 多様な事業の広域化の検討等による安定的かつ効率的な水道事業運営
	下水の適正処理	 ◎ 下水道未普及地区における整備 ◎ 下水道長寿命化計画の着実な推進と新たな計画の策定

循環型社会 5年後の目標 資源・エネルギーが効率よく循環する社会づくりが進んで、市民生活による環境への負荷が小さくなっている。	低炭素社会への転換	 ◎ 地球温暖化対策の推進 ◎ 省エネルギー社会の推進と再生可能エネルギーの普及・拡大
	ごみの減量と適正処理	 ◎ 市民のごみ減量への理解促進 ◎ ごみ減量対策の推進とごみ処理の有料化の検討 ◎ ごみ収集やし尿収集の安定的・効率的な体制整備

都市景観 5年後の目標 西山から農地・住宅地につながる緑の流れなど、魅力的な都市の景観が協働のもとでつくられ、守られている。	良好な景観の保全	 ◎ 良好な都市景観を守り保全するための「長岡京市景観計画」の発展的な見直し ◎ 歴史的な景観形成のための西国街道の整備
	都市緑化と水辺環境整備	 ◎ 「みどりの基本計画」の改定 ◎ 既存公園の計画的な改修・更新 ◎ 市民ぐるみでの緑化運動の推進

けいえい

	施 策	施策の内容（重点方針）
魅力発信 5年後の目標 「住みたい 住みつづきたい 悠久の都長岡京」としてまちのイメージが広く知られている。	シティプロモーションの推進	 ◎ 「シティプロモーション推進指針」の策定 ◎ 定住人口と交流人口の増加に向けた情報広報活動の推進 ◎ シティプロモーションの観点からの各種イベントや事業の展開 ◎ 若者同士の出会いの場の創出に繋がる工夫の検討

都市経営 5年後の目標 挑戦する基礎自治体として、市民の信頼が厚く、対話に基づいた自律的で持続可能な行財政運営を行っている。	効果的・効率的な行財政運営	 ◎ 第4次長岡京市行財政改革大綱に基づくアクションプランの実行 ◎ 計画的な人材の育成と確保 ◎ 市民サービスの充実と健全な財政の維持
	財産の適正管理	 ◎ 市有財産管理台帳と新たな公会計制度の整備 ◎ 財産の有効活用による歳入の確保
	パートナーシップ	 ◎ 市政運営への市民参画の推進 ◎ 市政情報の市民との共有と対話の場の確保 ◎ 民間の活力を最大活用
	行政事務	 ◎ 市民サービスの効率化と向上 ◎ ベンチマーク等の評価を活かした総合計画の推進

一市の特性一

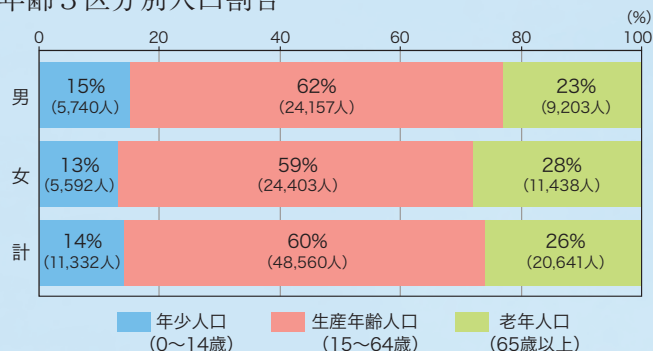
人口

(平成28年3月1日現在)

80,533人(男39,100人、女41,433人)

世帯数: 35,230世帯

年齢3区分別人口割合



主な観光名所

長岡天満宮、光明寺、楊谷寺、
勝龍寺、乙訓寺、長法寺、
勝竜寺城公園、中山修一記念館、
神足ふれあい町家



勝竜寺城公園

イベント

春の観光まつり(4月)
あじさいまつり(6月)
長岡京ガラシャ祭(11月)
秋のもみじまつり(11月)など



長岡京ガラシャ祭

主な事業所

カンケンテクノ(株)、(株)工進、サントリービール(株)京都
ビール工場、(株)松栄堂長岡京工場、(株)ツバキE&M、
ニチユ三菱フォークリフト(株)、パナソニックセミコン
ダクターソリューションズ(株)、三菱製紙(株)京都工場、
三菱電機(株)京都製作所、(株)村田製作所、レンゴー(株)
新京都事業所、(株)ロジスティクス・ネットワーク関西
センターなど

特産品



タケノコ



ナス



花菜

広域連携

乙訓2市1町における一部事務組合(乙訓環境
衛生組合、乙訓福祉施設事務組合、乙訓消防組合)
をはじめ、山城地域における様々な広域的な取り
組みを進めています。

歴史

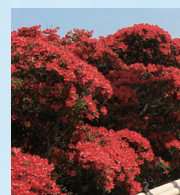
西暦518年 継体天皇、弟国宮をに遷る(〜526年)
西暦784年 桓武天皇、長岡京に遷都(〜794年)
昭和24年 3村の合併で長岡町が誕生
昭和47年 市制施行

市章

「長」の文字を図案化し、重なった円が
住民の和と発展する年輪を表しています。



市の花・木・鳥



キリシマツツジ



モミジ



メジロ

平成20年度に景観計画を策定。
平成22年度に景観法の指定により、
燃えるような濃紅色の八条ヶ池中堤
のキリシマツツジを景観重要樹木に
決めました。

昭和47年の市制施行を
記念し、モミジが市の木と
して、平成4年の市制施行
20周年を記念し、メジロ
が市の鳥として制定されて
います。

地勢

約4.3km



京都府

長岡京市

本市は京都府南部にあり、北東は向日市と京都市、
南西は大山崎町、大阪府三島郡島本町と接し、京都・
大阪の中間に位置する高い利便性と自然の豊かさが
もたらす快適性が調和する都市です。

市域は東西約6.5km、南北約4.3kmと東西に長い長
方形であり、総面積19.17km²で、その約4割は西山
が占めています。土地利用は、中心部を住宅地や商
業地、東部は先端的な電機・精密機械系の企業が集
積する工業地域となっています。